

補強土壁の点検支援に関する技術の技術比較表

選定10技術について、リクワイヤメント、現場実証の有無、技術の特徴を踏まえ、4つに分類して比較表を作成した。
既設補強土壁に適用可能な4技術は現場実証を実施した。現場実証を実施した技術の比較表には応募資料に示すA～Dに加え、現場実証の概要・結果（E）、リクワイヤメントに関する確認結果（F）を追記した。

【リクワイヤメント】

- ① 壁面材個々の変位からなる補強土壁特有の外形の変化を線的または面的に把握できる技術
- ② 補強土壁の内部状況（補強材、盛土材等）を把握できる技術

番号	技術名称	リクワイヤメント	既設補強土壁への適用	比較表の分類	比較項目						
					A	B	C	D	E	F	補足資料
					基礎情報	比較項目	リクワイヤメント①	リクワイヤメント②	実証結果	確認結果	
					応募資料から作成				現場実証から作成		
1	点群データを活用したインフラ構造物の経年変化差分解析	①	適用可	(1)壁面を計測する技術	○	○	○	—	○	○	○
2	POF傾斜計										
3	インティグリティ試験	②	適用可	(2)補強土壁の内部状況を把握する技術	○	○	—	○	○	○	○
4	POF水検知センサー										
5	KDパネル		適用不可	(3)引抜き抵抗を検知する技術	○	○	—	○	—	—	—
6	MEAパネル										
7	NDパネル										
8	センサーアダム			(4)補強材の応力または状態を把握する技術	○	○	—	○	—	—	—
9	テールアルメFS										
10	土中構造物の鋼材腐食検知センサー										

※各比較表にリンクしています

○:該当 —:該当なし